

きれいな川の水を守るために

柳 優里子

小郡市立三国小学校

わたしは、6月8日に、宝まん川浄化センターを見学しました。ここでは、家庭や工場から出た汚水や、雨水を、魚が住めるくらいきれいにし、川に流します。

その仕組みはこうです。まず、処理場に運ばれた下水は、沈砂池という池で、大きなゴミや砂が取りのぞかれます。小さなゴミや砂は、最初沈でん池で取りのぞかれます。次に反のうタンクでバクテリアなどのび生物に、水の汚れを食べてもらい、水はきれいになっていきます。そして、最終沈でん池で水の汚れを食べたび生物が取りのぞかれて、水はもつときれいになります。最後に最終沈でん池の水を消どくしてからきれいになった水は、川に放流されます。

わたしは、このしくみを知って、水をきれいにするために思ったよりも、やるのがたくさんあるんだなと思いました。

水をきれいにして出た汚水はだつ水ケーキという物にして、別のしせつで、レンガなどにして、百パーセントさい利用されています。水をきれいにするだけではなく、汚水でもさい利用しているなんてすごいなと思いました。

見学の中で、きれいな川の水を守るために、お家で気をつける事も学習しました。それは、食べのこさないことです。一ぱいのみそしるを魚が住めるようになるまでうすめるとき、おふる五はい分も水がいるそうです。牛にゆう二百ミリリットルだと、おふる十ぱい分いるそ

うです。特に油は大へんなので、流しから流してはいけなそうです。わたしは帰ってこの事をお母さんに伝えました。わたしも、ごはんを食べるときは、なるべくお皿をきれいにしようと思いました。

宝まん川浄化センターを見学して、きれいな川の水を守るのがとても大へんだと分かりました。だからわたしも、できる事からつづけていきたいです。